3203 100

大正天皇實錄

卷三十二

圖書寮
書號 64047
冊數 97
函號 秘 4

3203 101

3203 102

宮内庁書陵部

大正天皇實錄　卷三十二

明治三十八年　實算二十七歳

東宮御所御遊營所御覽

七月二日、午後二時三十分御出門、芝離宮ニ行啓、四時五十分還啓アラセラル。（侍從日記・庶務課日記・行啓錄）

六日、午後一時四十分ヨリ手馭車ニテ東宮御所御遊營所ニ臨ミ、工事ノ實況ヲ御覩祭、技監片山東熊ノ先導ニテ各室ヲ御巡覽アリ、三時三十分御徒歩ニテ還啓アラセ

3203 103

ンル。亞七日東宮御所御造營局長男爵侯正直以下諸員ニ酒肴ヲ賜ヒ、勞ヲ犒ハセラル。（侍從日記・庶務課日記）

九日、午後三時御出門、南豐島御料地之内字代々木ニ行啓、四時五十分還啓ヲウセラル。（侍從日記・庶務課日記・行啓錄）

十二日、參謀總長元帥侯爵山縣有朋命ヲ奉シ、近日戰地ニ赴キ滿洲軍ニ使スルヲ以テ、謁ヲ賜ヒ、御紋附金卷長入壹個及ヒ酒肴ヲ賜フ。（侍從日記・庶務課日記・日露戰役錄）

十五日、午前十時御出門參内アリ、尋イデ吹上御苑觀櫻亭ニ臨ミ、戰利品ヲ御覽アラセラル。駐蹕閣ニ於テ御畫餐ノ後、主馬寮赤坂分廐ニ御立寄、戰利ノ乘馬ヲ御覽

戰利品御覽

ツリ、午後二時三十分還啓アラセラル。（侍從日記・庶務課日記・行啓錄）

二十日、午後三時御出門、麻布御用邸ニ行啓、御妹九子内親王・聽子内親王ニ御對面、御萬那料金貳拾圓ヲ賜ヒ、五時五分還啓アラセラル。（侍從日記・庶務課日記・行啓錄・御直宮御養育掛日記）

二十三日、午前七時五十分御出門、新橋停車場發ノ汽車ニテ葉山御用邸ニ行啓、皇后ノ御機嫌ヲ候ハセラレ、午後四時御用邸御出門、六時五十分還啓アラセラル。（侍從日記・庶務課日記・行啓錄・官報）

葉山ニ皇后ノ御機嫌ヲ候ハセタル日記

二十六日、亞米利加合衆國陸軍長官ういりあむ・えつ

米國陸軍長官ニ賜謁

3203 104

ち・たふと國賓トシテ帝室ノ優遇ヲ享クルニヨリ、敬意ヲ表スル爲、午後三時四十分陸軍少將ぶりす・陸軍大佐えどわーど・軍醫えでい・長官、副官とむそん等ヲ伴ヒ假東宮御所ニ參候ス。因リテ中殿ニテたふと以下諸員ニ謁ヲ賜フ。（侍從日記・廳務課日記・外事錄・官報）

高輪南町御用邸ニ行啓

三十日、午前十時三十分御出門、高輪南町御用邸ニ行啓、御靈饗ヲ召シ、午後四時還啓アラセラル。（侍從日記・廳務課日記）

八月四日、變ニ六月獨立第十三師團ヲ以テ樺太軍ヲ編制シ、北道艦隊護衛ノ下ニ兩北兩方面ヨリ樺太島ニ上陸

セシガ、爾後、軍ハ各地ニ轉戰、敵駐屯軍ヲ擊攘シ、遂ニ各月三十一日樺太島軍務知事兼樺太軍長官陸軍中將りやぶのふ以下敵ノ大半ヲ投降セシムルニ至リ、樺太全島ヲ平定セリ。捷報到ルヤ、是ノ日東宮侍從原恒太郎ヲ宮坂ニ遣シ、天皇・皇后ニ航賀ヲ奏啓セシメラル。又樺太軍及ヒ北道艦隊ニ令旨ヲ賜ヒ、其ノ功ヲ賞セラル。樺太軍ニ賜ヘル令旨ニ曰ク、

樺太軍ニ令旨ヲ賜フ

敏活ナル行動ヲ以テ敵ヲ掃蕩シ其首將ヲシテ降ヲ乞フニ至ラシメタル樺太軍ノ偉功ヲ嘆尚ス

十一日樺太軍司令官第十三師團長陸軍中將原口兼濟ト。

3203 105

ノ奉答文到ル。日ク、

樺太島占領ニ到シ優渥ナル令旨ヲ賜ハリ感激ノ至ニ堪ヘス謹テ奉答ス

ト。又北遣艦隊ニ賜ヘル令旨ニ曰ク、

北遣艦隊ニ令旨ヲ賜フ

大候ノ障碍ヲ排シ陸軍ト策應シ樺太ノ占領ヲ迅速ナラシメタル北遣艦隊將卒ノ忠勇ナル行動ヲ嘆尚ス

ト。六日北遣艦隊司令長官海軍中將片岡七郎ノ奉答文到ル。日ク、

天皇陛下ノ御威德ニヨリ北遣艦隊カ樺太ニ於ケル作戰ノ目的ヲ達成シ得タルニ對シ特ニ優渥ナル令旨ヲ賜ハリ感激ノ至ニ堪ヘス尚ホ愈〻勇奮努力令旨ニ副ヒ奉ランコトヲ期ス

ト。更ニ五日東宮武官無水公三郎ヲ北遣艦隊並ビニ大湊水雷團・津輕海峽防禦司令部等ニ遣シ、艦隊傷病者ニ御菓子料ヲ賜ヒ、又十六日東宮武官田内三吉ヲ樺太軍及ビ函館要塞・青森病院ニ遣シ、傷病者ニ御菓子料ヲ賜フ。

（行啓錄・扈從日記・日露戰役錄・官報・明治三十七八年日露戰史）

六日、午後一時三十分御出門、濱離宮ニ行啓、四時二十分還啓ヲアセラル。（侍從日記・扈從課日記・行啓錄）

十日、御避暑ノ爲メ鹽原ニ行啓ヲアセラル。即チ九日鹽原ニ御避暑

圖書寮

3203 106

參內、請暇ヲ奏啓アリ、是ノ日午前八時御出門、上野停車場ニテ汽車ニ御搭乘、午後一時二十分四那須野停車場ニ著カセラレ、人力車ニ御移乘、鹽谷ヲ經テ、四時十分鹽原御用邸ニ入ラセラル。上野停車場ニテ輝久王・宮內大臣子爵田中光顯・陸軍大將子爵佐久間左馬太等ノ奉送ヲ受クサセラル。是ヨリ九月一日マデ御滯留二旬餘ニ及ブ。此ノ間ノ御動靜ヲ拜シ奉ルニ、御健康極メテ良好ニ渉ラセラレ、更ニ御異狀ヲ認メズ。隨ヒテ十三日ヨリ午前中一二時間御學問ノ復習ヲ行ヒ、午後少時御用邸近傍ヲ運動ラクセラルルコト例年ニ同ジ。今回ハ御滯在期間

モ短キ爲、三十日畑トナル中山驛子ノ別邸ニ行啓アリシ外ハ、遠行等ノ御試ミモナシ。謁ヲ賜ヘル者モ、伯爵土方久元・宮內大臣子爵田中光顯・樞密顧問官男爵高崎正風等ノミナリ。

供奉員

猶ホ此ノ行、供奉ヲ命ゼラレタル者ハ、東宮大夫侯爵中山孝麿・東宮武官長村木雅美・東宮侍從子爵大迫貞武・同有馬純文・東宮侍從原恒太郎・同本多正復・東宮武官出內三吉・同黑水公三郎・同尾藤知勝・侍醫片山芳林・同西鄕吉義・同伊勢錠五郎ナリ。（侍從日記・庶務課日記・行啓錄・電報）

守正王ノ病ヲ御慰問

十二日、守正王戰地ニ於テ病メルヲ以テ、電報ヲ發シ

3203 107

慰問アンセラル。文ニ曰ク、

御病氣ノ愈深ク痛心ス殘暑酷烈ノ候厚ク御療養速ニ御全快アラン事ヲ願フ

ト。侍從日記

三宮義胤薨ズ

十八日、故式部長從二位勳一等男爵三宮義胤ノ送葬ニヨリ、東宮王事子爵鍋小路在明ヲ其ノ邸ニ遣シ、白絹貳疋及ビ祭葬料金貳百圓ヲ賜ヒ、弔問セシメラル。

因ニ皇太子、義胤ヲ知リ給フ事既ニ年アリ。就中、其ノ日光宮滿濕ノ別莊ハ屢〻行啓ノ際御立寄アリ、時ニハ一瀉華嚴水　奔來亂石間　別莊風景好　庭上自然山

ノ詩ヲ賦シテ其ノ景ヲ賞シ給ヘリ。侍從日記・賜錄・行啓錄

九月二日、鹽原ヨリ東京ニ還啓アラセラル。是ノ日午前八時八分車ニテ御用邸御出門、途次、關谷尋常小學校ニ御休憩アリ、十時三十五分西那須野停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、上野停車場ニテ御下車、威仁親王・恒久王ヲ始メ宮內大臣子爵田中光顯・陸軍大將子爵佐久間左馬太等ノ奉迎ヲ受ケサセラル。停車場ヨリ直ニ參內、天機竝ビニ御機嫌ヲ候ハセラレ、午後四時五十分假東宮御所ニ還啓アラセラル。侍從日記・行啓錄・廳務錄・侍從職日錄

鹽原ニヲ還啓

東京市民驩迎

五日、東京市民ノ間ニ、幾ニ締結セラレタル日露講和

3203 108

慰問アンセラル。文ニ曰ク、

御病氣ノ愈深ク痛心ス殘暑酷烈ノ候厚ク御療養速ニ御全快アラン事ヲ祈ル

行啓錄

三宮義胤薨ズ

十八日、故式部長從二位勳一等男爵三宮義胤ノ送葬ニヨリ、東宮主事子爵鍋小路在明ヲ其ノ邸ニ遣シ、白絹貳疋及ビ祭粢料金貳百圓ヲ賜ヒ、弔問セシメラル。

因ニ皇太子、義胤ヲ知リ給フ事既ニ年アリ。就中、其ノ日光宮滿濃ノ別莊ハ屢〻行啓ノ際御立寄アリ、時ニハ一瀉華嚴水　奔來亂石間　別莊風景好　庭上自然山

ノ詩ヲ賦シテ其ノ景ヲ賞シ給ヘリ。廳務課日記・廳務錄・行啓錄

鹽原ヨリ還啓

九月二日、鹽原ヨリ東京ニ還啓アラセラル。是ノ日午前八時八分車ニテ御用邸御出門、途次、關谷尋常小學校ニ御休憩アリ、十時三十五分西那須野停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、上野停車場ニテ御下車、威仁親王・恒久王ヲ始メ宮內大臣子爵田中光顯・陸軍大將子爵佐久間左馬太等ノ奉迎ヲ受ケサセラル。停車場ヨリ直ニ參內、天機奉伺セラレ、午後四時五十分假東宮御所ニ還啓アラセラル。侍從日記・行啓錄・廳務課日記・官報・侍從職日錄

東京市民騷擾

五日、東京市民ノ間ニ、變ニ締結セラレタル日露講和

3203 109

條約ヲ以テ國民ノ屈辱ナリトシ、之ガ破棄ヲ論シ、國民ノ公憤ニ愬ヘント策動スルモノアリ。國民同志會ヲ其ノ主唱者トナシ、漸次都下ノ各團體ヲ糾合シ、講和問題同志聯合會ヲ組織スルニ至リ、是ノ日遂ニ國民大會ヲ日比谷公園ニ開キ、和約破棄ノ示威運動ヲ行ハントス。政府ハ之ガ阻止ヲ圖リシガ、其ノ干渉壓迫ニ市民ノ多數ハ憤激止シ、遂ニ警察官・憲兵ト衝突ヲ惹起シ、内務大臣官邸其ノ他ヲ襲ヒテ火ヲ放ツ。市中ノ秩序全ク亂レ、騒擾劇甚ヲ加フ。東宮大夫侯爵中山孝麿邸附近亦火災起リタルヲ以テ、物ヲ賜ヒ存問アラセラル。午後九時東宮侍

東宮侍從ヲ宮城ニ遣サル

圖書寮

從本多正復ヲ宮城ニ遣シ、天機竝ビニ御機嫌ヲ候ハセラル。猶ホ東京衛戍總督ノ命令ニヨリ假東宮御所ノ警備ニ任ジタル近衛歩兵第四聯隊ニ亦物ヲ賜ヒ勞ヲ慰ハセラル。

凱旋セル片岡北遣艦隊司令長官ニ賜ハル

（庶務課日記・賜賜錄・官報）

十二日、凱旋セル北遣艦隊司令長官海軍中將片岡七郎ニ以下幕僚ニ謁ヲ賜フ。尋イデ十四日凱旋セル聯合艦隊司令長官海軍大將東郷平八郎ニ謁ヲ賜ヒ、酒肴ヲ賜フ。侍從

（庶務課日記・日露戰役錄）

東宮武官ヲ滿洲軍等ニ遣ハル

二十日、東宮武官尾藤知勝ヲ滿洲軍及ビ韓國駐劄軍ニ遣シ、邦彦王・守正王・滿洲軍總司令官元帥陸軍大將侯

3203 110

爵大山巌以下各軍司令官・師團長及ビ傷病者等ニ物ヲ賜ヒ、慰問アラセラル。（廉務課日記・日露戰役錄）

二十三日、午前九時御出門、有栖川宮邸ヲ過リテ參內、十一時三十分還啓アラセラル。（侍從日記・廉務課日記・行啓錄）

二十四日、秋季皇靈祭ニヨリ午前九時御出門、皇靈殿ヘ御拜アリ、十一時三十分還啓アラセラル。（侍從日記・廉務課日記・典式錄）

秋季皇靈祭御拜

二十五日、午前十時三十分御出門、中山慶子邸ニ行啓、慶子・愛子・榮子ニ謁ヲ賜ヒ、慶子ニ金百圓ヲ、愛子ニ白羽二重壹疋・葡萄酒壹打ヲ、榮子ニ白羽二重壹疋・御

中山慶子邸ニ行啓

萬邦料金參千疋ヲ賜フ。（侍從日記・廉務課日記・行啓錄）

二十六日、東宮侍從丸尾錦作ヲ宮中顧問官ニ任ジ、皇孫御養育掛長仰付クラル。仍リテ金千圓ヲ賜フ。錦作、明治二十二年以來側近ニ奉仕スルコト十有六年、其ノ功績顯著ナルヲ以テナリ。（進退錄・官報・賜賞錄）

二十七日、守正王病ヲ別府溫泉ニ養フニヨリ、昨二十六日電報ヲ以テ御機嫌ヲ候ス。是ノ日即チ電報ヲ發シ、慰問アラセラル。（廉務課日記）

二十九日、凱旋セル伊太軍司令官獨立第十三師團長陸軍中將原口兼濟・歩兵第二十五旅團長陸軍少將竹內正策・凱旋セル原口伊太軍司令官等ニ賜餐

3203 111

歩兵第二十三旅團長陸軍少將内藤正明以下幕僚ニ謁ヲ賜ヒ、兼濟ニ酒肴ヲ賜フ。侍從日記・庶務課日記・日露戰役錄

十月九日、午前八時御出門、新橋停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、逗子停車場ニテ御下車、十一時五分葉山御用邸ニ御著、皇后ニ御對面、御機嫌ヲ候ハセラル。午後三時御用邸御出門、有栖川宮別邸ニ臨ミ、威仁親王ニ御對面ノ後、逗子停車場ヨリ再ビ汽車ニテ往路ノ如ク六時四十五分假東宮御所ニ還啓アラセラル。侍從日記・庶務課日記・行啓錄・皇親錄・官報

葉山ニ皇后ノ御機嫌ヲ候ハセラル

東宮主事一人增員

十一日、是ヨリ先、裕仁親王・雍仁親王・伯爵川村鐵太郎ノ邸ヨリ皇孫假御殿ニ歸還アリ、東宮御所内ニ於テ

圖書寮

御養育ノ事ニ御治定アリシヲ以テ、東宮主事ノ定員ヲ增加シ、兩親王ニ關スル庶務會計ヲ掌理セシムル必要ニ迫リ、是ノ日東宮職官制中東宮主事二人ヲ三人ニ改メラル。

依リテ榮野鋭ヲ東宮職御用掛ト爲シ、東宮主事心得ヲ仰付ケラル。省達錄・進錄・官報

學習院ニ行啓

十五日、午後二時御出門、學習院ニ行啓、秋季運動會場ニ臨ミ、四時二十分還啓アラセラル。同院ニ金貳百圓ヲ賜フ。侍從日記・庶務課日記・行啓錄

十六日、午前十一時三十分妃ト俱ニ内謁見所ニ於テ新任亞爾然丁國特命全權公使どん・ばるとめろ・がるしあ・

3203 112

歩兵第二十三旅團長陸軍少將内藤正明以下幕僚ニ謁ヲ賜ヒ、兼濟ニ酒肴ヲ賜フ。侍從日記・庶務課日記・日露戰役錄

十月九日、午前八時御出門、新橋停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、逗子停車場ニテ御下車、十一時五分葉山御用邸ニ御著、皇后ニ御對面、御機嫌ヲ候ハセラル。午後三時御用邸御出門、有栖川宮別邸ニ臨ミ、威仁親王ニ御對面ノ後、逗子停車場ヨリ再ビ汽車ニテ往路ノ如ク六時四十五分假東宮御所ニ還啓アラセラル。侍從日記・庶務課日記・行啓錄・皇親錄・官報

葉山ニ皇后ノ御機嫌ヲ候ハセラル

東宮主事一人增員

十一日、是ヨリ先、裕仁親王・雍仁親王、伯爵川村鐵太郎ノ邸ヨリ皇孫假御殿ニ歸還アリ、東宮御所内ニ於テ

御養育ノ事ニ御治定アリシヲ以テ、東宮主事ノ定員ヲ增加シ、兩親王ニ關スル庶務會計ヲ掌理セシムル必要ニ迫リ、是ノ日東宮職官制中東宮主事二人ヲ三人ニ改メラル。依リテ榮野銳ヲ東宮職御用掛ト爲シ、東宮主事心得ヲ仰付ケラル。省達錄・達錄・官報

十五日、午後二時御出門、學習院ニ行啓、秋季運動會場ニ臨ミ、四時二十分還啓アラセラル。同院ニ金貳百圓ヲ賜フ。侍從日記・庶務課日記・行啓錄

學習院ニ行啓

十六日、午前十一時三十分妃ト倶ニ内謁見所ニ於テ新任亞爾然丁國特命全權公使どん・ばるとめろ・がるしあ・

3203 113

さがすつーの夫妻ニ謁ヲ賜フ。（侍從日記・庶務課日記・官報・外事錄）

神嘗祭御拜

十七日、神嘗祭ニヨリ、午前九時十分御出門、賢所御拜アリ、十一時三十五分還啓アラセラル。（侍從日記・庶務課日記・典式錄）

參內平和克復ノ賀詞ヲ奏セラル

是ノ日、日露講話條約ノ批准終レルヲ以テ、午後三時御出門參內、御座所ニ於テ天皇ニ謁シ、平和克復ノ賀詞ヲ奏セラル。歸途、有栖川宮邸ニ臨ミ、五時五十五分還啓アリ。十九日正午東宮大夫侯爵中山孝麿以下東宮職諸員ニ立食ヲ賜ヒ、平和克復ヲ祝セラル。（侍從日記・庶務課日記・侍從職日錄・行啓錄）

皇后ノ還啓ヲ新橋驛ニ奉迎

二十一日、皇后、葉山御用邸ヨリ宮城ニ還啓アラセラルルヲ以テ、午後三時五十分御出門、妃ト俱ニ新橋停車場ニ行啓、奉迎アリ、四時五十分還啓アラセラル。（侍從日記・庶務課日記・行啓錄・官報）

聯合艦隊司令長官凱旋式ニ御參列

二十二日、聯合艦隊司令長官凱旋式ニ參列アラセラル。是ノ日午前十時聯合艦隊司令長官海軍大將東鄕平八郎各司令長官及ビ幕僚ヲ隨ヘテ凱旋入京ス。乃チ東宮武官黑水公三郎ヲ新橋停車場ニ遣シ、之ヲ迎ヘシメラル。午前十時御出門參內、天皇ニ扈從シ千種間ニ臨ミ、凱旋上奏式ニ御參列アリ、平八郎海戰ノ經過ヲ奏スルヲ陪聽アラ

3203 114

セラル。其ノ辭ニ曰ク、

咨嚴二月上旬聯合艦隊カ大命ヲ奉シテ出征シタル以來茲ニ一年有半其間海陸ノ交戰皇軍勝利ヲ獲サルコトナク今日復タヒ和平ノ秋ニ遇ヒ皇威大馬ノ勢ヲ了ヘテ大纛ノ下ニ凱旋スルヲ得タリ是レ一ツニ大元帥陛下御威德ノ然ラシムルモノニシテ皇軍ノ終始感激指ク能ハサル所ナリ

初メ聯合艦隊ノ海上ニ第一期作戰ヲ開始スルヤ皇ハ大命ニ基キ海陸ノ形勢ト陸戰ノ方向ヲ考察シ敵艦隊ノ主力ヲ旅順方面ニ拘束シ之ヲシテ浦鹽ノ要地ニ據

圖書寮

ラシメサルヲ以テ戰略ノ主旨トシ先ツ旅順仁川ニ敵ヲ迅擊シ更ニ數次ノ攻擊ヲ重ネ以テ漸次ニ其勢力ヲ減殺シ又屢〻冒險ナル敵港ノ閉塞及敵前ノ水雷沈置等ヲ試ミ以テ敵ノ出動範圍ヲ縮少スルニ力メ尙艦隊ノ一部ヲ常ニ朝鮮海峽ニ駐メテ海上ノ要害ヲ扼シ以テ浦鹽ノ敵ヲ監視スルト同時ニ旅順ノ敵ニ對スル第二戰線タラシメタリ此作戰ノ前期中敵ハ終始地利ニ據リテ退嬰ヲ事トシ我軍連續ノ攻擊モ容易ニ其成果ヲ收ムル能ハサリシカ八月中旬敵艦隊主力ノ旅順ヨリ浦鹽ニ逃レントスルニ及ヒテ黃海及蔚山沖ノ

3203 115

海戰ヲ見ルニ至リ期セスシテ全ク敵ノ戰略的企圖ヲ
摧破シ我作戰目的ノ過半ヲ達成スルヲ得タリ其後陸
戰漸ク歩武ヲ進メ旅順ノ背面ニ對スル我攻圍軍不撓
ノ追擊ハ海上ニ於ケル耐久ノ封鎖ト相須テ遂ニ敵艦
隊ノ主力ヲ其要塞ノ下ニ殲滅スルニ到レリ惟フニ此
期ノ作戰ハ戰勢ノ自然ニ伴ヒテ漸進微功ヲ積ミ攻戰
約千箇月ニ亘リ我將卒ノ心力ヲ傾注シ智勇ヲ發揮シ
タルコト本戰役中ニ冠絶シ忠死ノ士殉難ノ艦亦少カ
ラサリシト雖モ戰局ノ大勢ハ茲ニ初テ定リ爾後日本
海ニ於ケル決勝ノ機運モ此間ニ萌芽シタルヲ覺ユ今

圖書寮

春年改マルト共ニ第二期ノ作戰ニ移リ我艦隊ハ更ニ
兵力ヲ整頓シテ敵ノ第二艦隊ニ備ヘ傍ラ露領沿海州
ヲ包圍シテ敵國軍資ノ輸入ヲ遮斷シ時ニ支隊ヲ南洋
ニ分遣シテ敵ノ航路ヲ威嚇スルニ勉メ其間鎮馬津輕
宗谷國後等ノ諸水道附近ニ於テ捕獲シタル船舶三十
餘隻ヲ算ス初夏五月ニ入リ敵ノ第二艦隊近海ニ出現
スルニ及ヒテ豫メ我全力ヲ朝鮮海峽ニ集中シ邀ヲ以
テ勞ニ乘スルノ策ヲ執リシカ我將卒ノ勇敢ナル動作
ハ神明ノ加護ニ由リ著々其功ヲ奏シ日本海海戰ノ一
擧敵影ヲ海上ヨリ掃蕩シ以テ此期ノ作戰ヲ終結スル

3203 116

ヲ得タリ

爾來海洋ハ名實共ニ我艦隊ノ制壓ニ歸シ作戰第三期ニ入リシモ負擔ノ任務ハ大ニ輕減シ或ハ陸軍ト與ニ犄太ノ攻略ニ從事シ殆ト一兵ヲ損セスシテ協同ノ任務ヲ果シ或ハ時々北韓方面ニ作動シテ敵ヲ脅威シ且ツ依然露領ノ包鎖ヲ續行シテ休戰復和ノ終局ニ至ル迄確實ニ之ヲ維持セリ

之ヲ要スルニ聯合艦隊ノ作戰ハ其第一期ニ於テ戰勢ヲ定メ第二期ニ移リテ戰勝ヲ決シ第三期ニ入リテ戰果ヲ收メントシタルモノニシテ其間緩急難易ノ差異

圖書寮

ケリシト雖モ全局ニ亘ル一貫ノ攻戰ハ其始ヨリ順當ニ輕過シ終ニ今日アルヲ見ルニ到レリ今ヤ凱旋シテ東京灣ニ集合セル帝國艦船大小百七十餘隻固ヨリ戰役ニ亡失シタルモノアリト雖モ更ニ戰利トシテ獲得シタルモノヲ加ヘ尚能ク戰前ニ劣ラサル武力ヲ保有スルヲ得タルハ臣等ノ誠ニ光榮トスル所ナリ終ニ臨ミ臣ハ聯合艦隊ハ滿韓ニ於ケル陸戰ノ效果ニ依リ其餘利ヲ蒙リタルコト少カラス又海軍大小諸機關ノ整備活動其他諸官衙ノ支助協力ニ依リ海上ノ作戰遺憾無ク進捗シタルコトヲ感喜ス茲ニ謹テ海上作戰ノ經

3203 117

過ヲ奉告シ大命ニ對スル實務ノ結了ヲ奏聞ス

ト。尋イデ天皇勅語ヲ賜ヒ、其ノ功ヲ嘉セラル。式畢リ

午後零時三十分還啓アラセラル。侍從日記・旅務課日記・日露戰役錄・官報・侍從職日錄

東郷司令長官以下ニ勅ヲ賜フ

聯合艦隊司令長官海軍大將東郷平八郎以下第二艦隊司令長官海軍中將上村彦之丞・第三艦隊司令長官海軍中將片岡七郎・第四艦隊司令長官海軍中將出羽重遠等ニ各〻清酒壹樽・五種交魚壹折宛ヲ賜フ。後、二十四日午八郎、海軍軍令部長海軍大將子爵伊東祐亨ト俱ニ參殿、恩ヲ謝スルニヨリ乃チ謁ヲ賜ヒ、二十五日ニハ彦之丞・七郎・

重遠等各〻幕僚ヲ隨ヘ參殿セルニヨリ、亦謁ヲ賜ヘリ。

旅務課日記・日露戰役錄・侍從日記

二十三日、聯合艦隊參謀ノ職務ヲ以テ横濱港沖ニ於ケル聯合艦隊凱旋觀艦式ニ參列アラセラル。是ノ日午前七時三十分御出門、新橋停車場ヨリ御發車、八時五十三分横濱停車場ニ著カセラレ、聯合艦隊司令長官海軍大將東郷平八郎以下諸員ノ奉迎ヲ受ケ、樓上ニ御休憩アリ、九時三十分天皇ノ横濱停車場著御ヲ奉迎アラセラレ、直ニ處海ノ後ヨリ、東郷聯合艦隊司令長官ノ幕僚トシテ之ニ續キ、人力車ニテ横濱祝捷ニ臨ミ、再ビ御休憩アリ、十

3203 118

御台艦淺間ニ御陪乘

時汽艇ヲ以テ大皇ノ御召艦淺間ニ陪乘アラセラル。十時二十五分抜錨、式場ニ進ミ、御親閲ニ扈從アラセラル。式場ハ東西五海里・南北二海里ニ亘リ、參列艦艇白六十五隻ニ及ブ。正午過ル頃淺間錨地ニ投錨シ、天皇、東郷聯合艦隊司令長官以下諸員ヲ召シテ勅語ヲ賜フ。即チ御陪席アリ。畢リテ饗餐ヲ攝ラセラレ、更ニ潛航艇ノ運動ヲ台覽アリ、午後二時五十分上陸シ給ヒ、横濱停車場ニ天皇ヲ奉送ノ後、四時十分汽車ニ御搭乘、六時十分假東宮御所ニ還啓アラセラル。侍從日記・庶務課日記・典式錄・官報

二十五日、賢所・皇靈殿・神殿修理成レルヲ以テ、是

圖書寮

御神體遷座ニ際リ賢所三殿御拜

ノ日午前十時御神體ヲ假殿ヨリ遷座ス。仍リテ御日拜所ニ於テ遥拜アラセラル。尋イデ賢所・皇靈殿・神殿御親祭並ビニ御神樂ヲ行ハセラルルニヨリ、午後四時十分御出門、御拜アリ、五時五十分還啓アラセラル。侍從日記・庶務課日記・典式錄・官報

下志津原ニ行啓

二十七日、陸軍士官學校生徒戰鬪射擊演習實況御視察ノ爲、千葉縣下下志津原ニ行啓アラセラル。是ノ日午前七時十分御出門、總武鐵道株式會社兩國停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、九時三十分四街道停車場ニ著カセラレ、陸軍士官學校長陸軍少將兩部辰丙以下諸員ノ奉迎ヲ受ケ、人

3203 119

力車ニ御移乗、陸軍野戰砲兵射撃學校ニ入ラセラル。御少憩ノ後、南部校長ノ御先導ニテ演習場ニ臨ミ、大日山附近ニ於テ戰鬪射撃演習ヲ御覩察アリ、午後零時十分歸路ニ就カセラレ、再ビ陸軍野戰砲兵射撃學校ニ到リテ午餐ヲ召シ、陸軍士官學校教官諸員ニ謁ヲ賜フ。一時四十分同校御出門、四街道停車場ニテ汽車ニ御搭乘、兩國停車場ニテ御下車、四時二十五分假東宮御所ニ還啓アラセラル。猶ホ千葉停車場ニテ千葉縣知事石原健三・兩國停車場ニテ教育總監陸軍大將男爵西寛二郎等奉送迎セリ。

侍從日記・庶務課日記・官報

行啓錄・臺覽錄・官報

圖書寮

凱旋セル海軍將校ヲ濱離宮ニ召ス

二十八日、戰地ヨリ凱旋セル海軍將校ヲ濱離宮ニ召サセラル。是ノ日午前十時御出門參內ノ後、正午濱離宮ニ行啓、海軍將校庭園ニ列立奉迎セル前ヲ御通過アリ、午後零時三十分立食場ニテ貞愛親王・威仁親王・載仁親王・依仁親王・東伏見宮・博恭王ト御會食、侯爵伊藤博文・內閣總理大臣伯爵桂太郎並ヒニ大本營幕僚・聯合艦隊將校・各鎮守府代表者等ニ立食ヲ賜フ。一時將官及ヒ艦狀ヲ受クタルモノ各艦隊司令長官幕僚等ニ順次ニ酒盃ヲ賜フ。二時離宮御出門、還啓アラセラル。侍從日記・庶務課日記・日露戰役錄・官報

酒盃ヲ賜フ

是ノ日、午後五時三十分御出門、奉迎宮邸ニ行啓、博

恭王ニ御爲粢料金貳拾五圓ヲ賜ヒ、七時三十七分還啓アラセラル。（侍従日記・庶務課日記・行啓録）

二十九日、聯合艦隊司令長官海軍大將東郷平八郎青山墓地ニ於テ明治三十七八年戰役戰歿者弔祭ヲ擧行スルヲ以テ、東宮武官黒水公三郎ヲ遣シ、祭粢料金貳拾五圓ヲ賜フ。（庶務課日記・贈賜録）

十一月二日、威仁親王ト午餐ヲ御會食、東宮侍従長侯爵木戸孝正等ニ陪食ヲ賜フ。（侍従日記・庶務課日記・典式録）

陸海軍少將ニ御陞任

三日、陸軍少將・海軍少將ニ陞任セシメラレ、午前十時勅使侍従長公爵徳大寺實則官記ヲ奉ジテ參殿セルヲ以

圖書寮

テ、陸軍大佐ノ御正装ニテ内謁見所ニ出デ、之ヲ受ケサセラル。十一時公式鹵簿乙ノ部ニテ御出門、宮城正門ヨリ參内、陞任ノ恩ヲ謝シ、尋イデ天長節宴會ニ御參列アリ、午後一時三十五分還啓アラセラル。夕刻妃ト倶ニ表謁見所ニ於テ陞任ノ祝宴ヲ開カセ給ヒ、公爵九條道實・東宮侍従長侯爵木戸孝正以下東宮職職員ニ陪食ヲ賜フ。（侍従日記・庶務課日記・典式録・進退録・侍従職日録・官報）

御陞任ノ祝宴

四日、華族會館ニ於テ出征華族戰歿者ノ弔祭ヲ執行スルニヨリ、御菓子壹臺ヲ賜フ。（贈賜録・庶務課日記）

五日、内閣総理大臣伯爵桂太郎・外務大臣男爵小村壽

3203 121

凱旋セル依仁親王ヲ晩餐ニ召ス

太郎・海軍大將東郷平八郎・陸軍少將東條英教・海軍少將松本和・諸陵頭足立正聲及ビ宮中顧問官子爵高辻修長相次イデ參殿セルヲ以テ、謁ヲ賜フ。侍從日記・庶務課日記

是ノ日、午後六時三十分凱旋セル依仁親王ヲ召シテ晩餐御會食アリ、東宮武官長村木雅美等ニ陪食ヲ賜フ。庶務課日記・侍從日記・典式錄

七日、凱旋入京セル後備第二師團長陸軍中將三好成行以下將校二十八名ニ謁ヲ賜フ。二十四日亦凱旋セル近衛後備混成旅團長陸軍少將梅澤道治ニ謁ヲ賜ヒ、清酒壹樽・三種交魚壹折ヲ賜フ。侍從日記・庶務課日記・日露戰役錄

宣仁親王皇孫假御殿ニ移居

十二日、宣仁親王午前十時假東宮御所御出門、皇孫假御殿ニ移居ス。因リテ御養育掛長丸尾錦作以下皇孫假御殿職員ニ酒肴ヲ賜フ。侍從日記・庶務課日記・廣間錄

被蓋ヲ新備停車場ニ奉送

十四日、平和克復ニヨリ天皇神宮親謁ノ爲メ午前十時十分被蓋シ給フニヨリ、新備停車場ニ行啓、奉送アラセラル。午後三時五十分靜岡御用邸著御ニ當リ、電報ニテ大儀ヲ候セラル。十五日宇治山田行在所著御ニ際シ、十七日神宮親謁ニ當リ、亦此ノ事アリ。十九日ニ至リテ還幸シ給フ。即チ再ビ新備停車場ニ行啓奉迎アリ、尋イデ參内アラセラル。侍從日記・庶務課日記・侍從職日錄・行啓錄・重要雜錄・官報

3203 122

羅馬法王使節ニ賜謁

二十一日、午前十時三十分今般本邦ニ來航セル羅馬法王使節ぱーとらんど僧正だぶるゆー・えっち・おー・こんねる及ビ隨員書記官ちゃーるす・だぶるゆー・こりんす・神學博士びー・じえー・さつぷるニ妃ト倶ニ謁ヲ賜フ。侍從日記・庶務課日記・外事錄・官報

二十二日、午前九時御出門、有栖川宮邸ヲ過リテ參內、午後零時十五分還啓アリ。來ル二十五日神宮ニ謁セラルル爲メ三重縣宇治山田町ニ行啓アルヲ以テナリ。侍從日記・庶務課日記・職日錄・行啓錄

是ノ日、午後御妹昌子內親王・房子內親王及ビ依仁親王ニ封面アラセラル。二十三日威仁親王ニ、二十四日載仁親王ニ亦御封面アリ。侍從日記・庶務課日記

宇治山田町ニ行啓

二十五日、平和克復ニヨリ、神宮ニ謁セラルルヲ以テ、三重縣宇治山田町ニ行啓アリ。是ノ日午前十時公式國簿乙ノ部ニテ御出門、新橋停車場ニテ依仁親王・菊麿王・恒久王・內閣總理大臣伯爵桂太郎等諸員ノ奉送ヲ受ケ、汽車ニ御搭乘、侍從職幹事公爵岩倉具定・東宮侍從長侯爵木戸孝正・東宮武官長村木雅美・東宮主事桂潛太郎・同子爵歸小路在明・東宮武官田內三吉・同黑木公三郎・東宮侍從子爵有馬純文・東宮侍從本多正復・侍醫西鄕吉

圖書寮

3203 123

静岡御著

静岡御發

宇治山田ニ御著

外宮御拜

敬供奉ス。午後三時四十五分静岡停車場ニ御著、静岡御用邸ニ入ラセラレ、静岡縣知事龜井英三郎・陸軍少將竹内正策ニ謁ヲ賜フ。夜ニ入リテ市民ノ獻上セル花火ヲ御覧アラセラル。侍從日記・風務課日記・皇親錄・行啓錄・官報

二十六日、午前七時五十分静岡御用邸御出門、静岡停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、午後四時四十五分山田停車場ニ御著、御旅館神宮司廳ニ入ラセラル。三重縣知事有松英毅以下諸員ニ謁ヲ賜フ、二十七日午前八時三十分御沐浴ノ後、十時御出門、外宮御拜アリ、尋イデ御休所ニテ神宮祭主邦憲王ニ御對面、小宮司以下ニ謁ヲ賜ヒ、十一時四十分神宮司廳ニ還啓アラセラル。二十八日亦御沐浴ノ後、十時御出門、内宮ニ御拜アリ、邦憲王ニ御對面ノコト前日ノ如ク、十一時還啓アラセラル。侍從日記・行啓錄・官報

内宮御拜

還啓ノ途ニ就カセラル

二十九日、東京還啓ノ途ニ就カセラル。是ノ日午前九時五十分神宮司廳御出門、山田停車場ニテ邦憲王以下諸員ノ奉送ヲ受ケ、汽車ニ御搭乘、午後二時三十二分名古屋停車場ニ御著、愛知縣知事深野一三・留守第三師團長陸軍少將高井敬義等ノ奉迎ヲ受ケ、名古屋離宮ニ入ラセラル。一三・敬義並ビニ岐阜縣知事川路利恭・名古屋控訴院長藤田隆三等ニ謁ヲ賜フコト例ノ如シ。敬義、軍事

名古屋ニ御著

圖書寮

3203 124

ニ關スル說話ヲ爲スヲ聰カセラル。又故陸軍歩兵中佐橘周太ノ關ヶ一郎左衛門ヲ特ニ召シテ謁ヲ賜ヒ、懷中時計壹個及ビ白縮緬壹疋ヲ賜フ。尋イデ離宮內ニ設ケラレタル商品陳列場ニテ愛知縣商品ヲ御一覽、深野知事ノ說明ヲ聰カセラル。三十日午前七時五十分離宮御出門、名古屋停車場ヨリ御愛車、沼津停車場御通過ニ際シ、裕仁親王・雅仁親王・宣仁親王ニ御對面アリ、午後五時四十五分新橋停車場ニ御著、貞愛親王・載仁親王・依仁親王並ビニ菊麿王以下諸員ノ奉迎ヲ受ケ、六時十分假東宮御所ニ還啓アラセラル。翌十二月一日午前十時御出門參內、

名古屋御滯

假東宮御所ニ還啓

大假應ヒニ御假嫌ヲ候ハセラル。侍從日記・行啓錄・庶務課日記・官報・侍從職日錄

十二月三日、近衛師團長陸軍中將淺田信興凱旋シ、午後一時十一分新橋停車場ニ著スルヲ以テ、東宮武官田內三吉ヲ遣シテ之ヲ迎ヘシメ、五種交魚壹折・清酒壹樽ヲ賜フ。五日信興幕僚ヲ率キテ參候セルニヨリ、謁ヲ賜フ。又近衛歩兵第二旅團長陸軍少將谷山隆英凱旋、六日參候セルヲ以テ謁ヲ賜ヒ、三種交魚壹折・清酒壹樽ヲ賜フ。侍從日記・庶務課日記・日露戰役錄

凱旋セル淺田近衛師團長ニ賜謁

六日、後桃園天皇御例祭ニヨリ、午前九時十分妃ト俱

後桃園天皇例祭御拜

3203 125

滿洲軍總司令官凱旋式ニ御參列

ニ御出門、皇靈殿ニ御拜アリ、十一時二十分還啓アラセラル。侍從日記・庶務課日記・典式錄

七日、午前九時四十五分御出門參內、明八日吳軍港ニ行啓ヲラセラルルヲ以テ、天皇・皇后ニ請暇ヲ奏啓アリ。

偶〻滿洲軍總司令官凱旋式アリ。仍リテ十一時天皇ニ扈從シ式場千種間ニ臨ミ、總司令官元帥侯爵大山巖作戰ノ經過ヲ復命スルヲ陪聽アラセラル。復命書ニ曰ク、

各處六月滿洲軍總司令官タルノ大命ヲ奉シ爾來遼陽ニ敵ノ戰略要地ヲ奪ヒ沙河ニ其前進ノ鋒鋒ヲ挫キ旅順ニ堅城ヲ陷レ黑溝台ニ敵ノ大企圖ヲ摧キ奉天ニ大軍ヲ擊碎シ其他大小交戰數十回一トシテ戰捷ヲ博セサル無ク以テ開戰當初ノ目的ヲ達スルヲ得タルハ偏ニ陛下ノ御威德ト將卒ノ忠勇ニ依ラスンハアラス而國民ノ忠愛ナル後援ハ有形無形上將卒ノ志氣ヲ鼓舞シ海軍ノ偉大ナル戰捷ハ沿海ノ作戰ニ大ナル效果ヲ及ホシ殊ニ軍ノ大動脈タル海上ノ連絡線ヲ鞏固ニシ內外當局官憲ノ熱誠ナル努力ハ中外ノ事情ヲ明瞭ニシ諸般ノ補給ヲ確實ニシ衞生ノ效果ヲ全フシ以テ作戰ノ指導ニ一大援助ヲ與ヘタリ是レ臣等ノ常ニ感喜

3203 126

スル所ナリ而シテ生命ヲ犧牲ニ供シタル幾多將卒ノ爲メニハ哀悼ノ情ヲ禁スル能ハス今ヤ平和克復シ國外ノ任全ク畢リ大顏ニ咫尺スルノ光榮ヲ得感激ノ至リニ堪ヘス各軍ニ於ケル作戰ノ概況ハ其凱旋ニ應シ當該軍司令官ヲシテ奏上セシム右謹テ復命以聞ス

ト。導イデ天皇勅諚ヲ賜ヒ、其ノ功ヲ嘉セラル。式畢リ午後零時三十五分還啓アラセラル。侍從日記・庶務課日記・侍從職日錄・日露戰役錄・官報

凱旋セル大山滿洲軍司令官ニ賜論

午後二時二十五分滿洲軍總司令官元帥陸軍大將侯爵大山巖・滿洲軍總參謀長陸軍大將男爵兒玉源太郎以下幕僚二十五名ヲ率ヰ參候セルヲ以テ謁ヲ賜ヒ、嚴ニ銷散シ金時繼手匣壹個ヲ、源太郎ニ近江八景金時繼手匣壹個ヲ、又兩人ニ清酒壹樽・五種交魚壹折宛ヲ賜フ。九日陸軍步兵少佐邦彥王及ビ第一軍司令官陸軍大將男爵黑木爲楨凱旋ス。因リテ東宮武官田內三吉ヲ新橋停車場ニ遣シ、邦彥王ヲ迎ヘシメ、王ニ三種交魚壹折ヲ、爲楨ニ清酒壹樽・五種交魚壹折ヲ賜フ。導イデ爲楨幕僚ヲ率ヰ、假東宮御所ニ伺候セリ。侍從日記・庶務課日記・日露戰役錄・官報

吳軍港ニ行啓

八日、軍艦筑波進水式ニ臨場ノ爲メ吳軍港ニ行啓アラセラル。是ノ日午前七時三十分御出門、威仁親王以下文

圖書寮

3203 127

武諸員奉送裡ニ新橋停車場ニテ汽車ニ御搭乘、菊麿王及ビ海軍大將東鄕平八郎屬從ス。八時四十五分横濱停車場ニ御著、祝砲波止場ヨリ汽艇ニテ軍艦磐手ニ乘リ給フ。

横濱港御解纜

午前十時横濱港解纜、一路舞子ニ嚮ヒテ航行アラセラル。

供奉員

菊麿王ハ供奉艦笠置ニ搭乘、平八郎ハ磐手ニ陪乘ス。猶ホ供奉ヲ命ゼラレタル者ニハ、東宮大夫侯爵中山孝麿・東宮侍從長侯爵木戸孝正・東宮武官長村木雅美・東宮侍從子爵有馬純文・同原恒太郎・同本多正復・東宮武官黑水公三郎・同尾藤知勝・侍醫相磯猛・同伊勢錠五郎・東宮主事子爵鍋小路在明等アリ。

舞子ニ御著

豈九日、午後三時三十分御乘艦磐手兵庫縣下舞子沖ニ投錨ス。乃チ汽艇ニテ有栖川宮別邸前海岸ニ御上陸、徒歩ニテ同邸ニ入ラセラレ、守正王ニ御對面、留守第十師團長陸軍中將柴野義廣等ニ謁ヲ賜フ。四時四十五分ヨリ明石町・山田村附近ヲ御遊邊、五時五十分還啓アリ。十日午前九時三十分有栖川宮別邸御出門、汽艇ニテ軍艦磐手ニ御搭乘、十一時解纜、午後五時香川縣下粟島沖ニ著カセラレ、直ニ御上陸、箱浦ヲ御散歩アリ、明神社境内ニテ御小休ノ後、御歸艦假泊アラセラル。十一日午前六時三十分粟島沖ヲ解纜、午後一時三十分吳軍港ニ著カセ

舞子御發

粟島沖ニ御假泊

3203 128

吳軍港ニ御著

フレ、吳鎮守府司令長官海軍中將有馬新一以下幕僚並ヒニ海軍大臣男爵山本權兵衛等ニ謁ヲ賜フ。是ノ夜亦隼港內ニ假泊アラセラル。（侍從日記・廳務課日記・行啓錄・皇親錄・官報）

軍艦筑波進水式ニ御臨場

十二日、午前八時四十分水雷艦ニテ吳海軍工廠造船部前面棧橋ヨリ御上陸、軍艦筑波進水式場ニ臨マセラル。然ルニ前夜來ノ風浪及ビ高潮ノ爲メ水中滑走船臺ニ故障ヲ生シタルヲ以テ、豫定ノ式ヲ行フコト能ハズ、來ル二十六日ニ延期スルノ止ムヲ得ザルニ至ル。因リテ吳海軍工廠長海軍中將山內萬壽治ニ先導セシメ、工廠內各工場ヲ巡覽アラセラル。午後零時三十分吳鎮守府司令長官官

依仁親王・菊麿王ト御會食

舍ニ臨ミ、依仁親王・菊麿王ト午餐御會食アリ、海軍大臣男爵山本權兵衛・英吉利國特命全權大使さー・くろーど・まっくすうえる・まくどなるど・海軍軍令部長海軍大將子爵伊東祐亨・海軍大將東郷平八郎・橫須賀鎮守府司令長官海軍大將男爵井上良馨・吳鎮守府司令長官海軍中將有馬新一・吳海軍工廠長海軍中將山內萬壽治・橫須賀海軍工廠長海軍中將伊東義五郎・第三艦隊司令官海軍少將山田彦八・第一艦隊司令官海軍少將島村速雄・留守第五師團長陸軍中將眞鍋斌・吳鎮守府參謀長海軍少將新島一郎・廣島縣知事山田春三等ニ陪食ヲ賜フ。午後二時三

3203 129

十分工務部棧橋ヨリ汽艇ニテ御歸艦アリ、尋イデ菊麿王ヲ隨ヘ晉戸ノ瀨戸ニ臨ミ、岬ニ御上陸、暫時御遊歩ノ後、五時二十分御歸艦、假泊アラセラル。是ノ日東宮武官黑水公三郎ヲ呉海軍病院ニ遣サル。十三日ハ午前七時呉軍港御解纜、八時宇品港ニ著カセラレ、汽艇ニテ御上陸、陸軍運輸本部ニ臨ミ、樓上ニ於テ御少憩、眞鍋留守第五師團長等ニ謁ヲ賜フ。九時三十分同所ヲ出デ御歸艦アリ、尋イデ宇品港ヲ拔錨、江田島沖ニ到リ、午後一時十五分海軍兵學校ニ行啓アラセラル。校長海軍少將富岡定恭以下諸員ニ謁ヲ賜ヒタル後、富岡校長ニ先導セシメ、生徒

呉軍港御解纜宇品ニ御立寄

江田島ナル海軍兵學校ニ行啓

館内機械・溫室所・講堂等御巡覽アリ、尋イデ生徒ノ柔道・各個教練・野砲及ビ中隊操練・砲臺操練・擊劍及ビ棒倒運動等ヲ台覽、畢リテ本館樓上ニ於テ御休憩、富岡校長ニ御言葉ヲ賜フ。曰ク、

本校生徒ハ將來ニ於ケル海軍ノ楨幹國家ノ干城タラサルヘカラス今日親シク茲ニ臨ミ學術ノ進歩良好ナルヲ見ル而シテ今回ノ戰役ニ從ヘル將校ノ多數ハ本校ノ出身ニシテ具行動軍人ノ龜鑑タルヘキモノ鮮ナカラサルハ校長始メ校員等ノ教訓具宜シキヲ得ルノ致ス所卿等益々奬勵以テ忠良ノ養成ニ勗メヨ

3203 130

ト。將校集會所ニ金百圓ヲ賜ヒ、又偶〻在學中ノ李王ニ物ヲ賜フ。夫ヨリ李王ヲ隨ヘ、御歸艦アリ、三時二

嚴島沖ニ御假泊

十分江田島沖ヲ發シ、四時三十分嚴島沖ニ著カセラレ、李王ト晩餐御會食、東郷海軍大將ニ陪食ヲ賜フ。侍從日記。

庶務課日記・蟲親・行啓錄・官報

十四日、叡旨ニヨリ來ル二十六日ニ延期シタル軍艦筑波進水式ニ再ビ臨場アラセラルルニ決シ、其ノ期ニ及ブ迄暫ク駕ヲ有栖川宮ノ離宮別邸ニ駐メサセラレントス。

因リテ午前七時嚴島沖御解纜アリ、午後四時四十分香川縣下小豆島內海灣ニ著カセラル。汽艦ニテ三都村蒲野ニ

小豆島內海灣ニ御假泊

御上陸、御運動アリ、尋イデ御歸艦、香川縣知事小野田元熙ニ謁ヲ賜フ。是ノ夜ハ內海灣ニ御假泊アリ、翌十五日午前六時三十分拔錨、十時兵庫縣下明石沖ニ著カセラレ、直ニ舞子海岸ニ御上陸、有栖川宮別邸ニ入ラセラル。

舞子ニ御著御滯泊

參候セル菊麿王・守正王ニ御對面アリ。是ヨリ御滯留九日、其ノ間、日々午前中ハ御讀書・邸內御散策ニ費シ、午後ハ明石町・垂水村等ニ御遊遙アリ、就中、二十日ニハ舊坂址ナル明石御料地ニテ、二十一日ニハ垂水村山野ニテ御遊獵ヲ試ミサセラレ、二十三日ニハ須磨ナル賀陽邸別邸ニ館セル守正王ヲ訪ハセラル。猶ホ二十二日ニハ

3203 131

參候セハ博恭王ニ御對面、午餐御會食アリ、二十三日ニハ邦憲王・多嘉王ニ御對面ノコトアリタリ。又東京御發程以來扈從セル菊麿王ニハ、十六日請暇ヲ啓シ同日歸京セリ。侍從日記・臨親錄・行啓錄・官報

鎮守府御發

二十四日、午前九時鎮守府有栖川宮別邸御出門、汽艇ニテ大藏谷沖ニ碇泊セル軍艦磐手ニ御搭乘、九時三十分解纜、午後四時三十分納港ニ著カセラレ、御假泊アリ。二十五日午前八時同港ヲ發シ、午後二時十五分吳軍港ニ著カセラレ、海軍大將東鄕平八郎・吳鎮守府司令長官海軍中將有馬新一以下幕僚・吳海軍工廠長海軍中將山內萬壽治及ビ廣島縣知事山田春三等ニ謁ヲ賜フ。是ノ夜亦磐手ニ御假泊アリ。侍從日記・臨親錄・行啓錄・官報

吳軍港ニ御著

軍艦筑波進水式ニ御臨場

二十六日、午前八時四十分汽艇ニ乘ジ、吳海軍工廠造船部第一船渠北側假棧橋ヨリ御上陸、有馬司令長官以下職員奉迎裡ニ徒步ニテ軍艦筑波進水式場ニ臨マセラル。九時有馬司令長官進水準備ノ整頓ヲ報告シ、海軍大臣代理有馬吳鎮守府司令長官進水命令書ヲ朗讀シ、導イテ山內吳海軍工廠長ニ命シテ艦ヲ進水セシム。船體進行ヲ始ムルトキ、軍樂隊ハ奏樂ヲナシ、奏樂畢ルノ時ヲ以テ、進水式結了ヲ告グ。天ヨリ汽艇ニ乘ジ、鎮守府司令長官

圖書寮

3203 132

官舍ニ臨ミ、海軍次官齋藤實等ニ謁ヲ賜ヒ、豐饗ヲ賜ウ

吳軍港御巡

セ給ヘル後、同所御出門、午後一時吳停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、一路東京ニ還ハセラル。途次、沿線各停車場ニ於テ文武諸員ノ奉迎送ヲ受ケサセラレ、翌二十七日午後一時四十分厩仁親王及ビ各皇族以下ノ奉迎裡ニ新橋停車

東京ニ還啓

場ニ御著、二時假東宮御所ニ還啓アラセラル。導イデ山本海軍大臣・東郷海軍大將・宮內大臣子爵田中光顯等ニ謁ヲ賜ヒ、立食ノ陪食ヲ賜フ。是ノ日御著京後直ニ參內、天機ヲ候セラルベキナリシモ、偶〻ペストと流行地ヲ御通過アリシ爲、之ヲ止メサセラル。侍從日記・廳務課日記・皇親錄・行啓錄・官報

帝國議會開院式ニ御參列

二十八日、午前十時十分公式園輿乙ノ部ニテ御出門、貴族院ニ行啓、帝國議會開院式ニ御參列アリ、十一時五十分還啓アラセラル。侍從日記・廳務課日記・皇親錄・行啓錄・官報・典式錄

午後三時御出門、有栖川宮邸ニ行啓、威仁親王ニ御對面ノ後參內、天機ヲ候シ、吳行啓ノ狀況ヲ奏シ、六時四十分還啓アラセラル。侍從日記・廳務課日記・行啓錄

二十九日、不日歸國スル和蘭國及ビ瑞典國特命全權公使どらんだす午後一時三十分參候セルニヨリ謁ヲ賜フ。侍從日記・廳務課日記・官報・外事錄

圖書寮

EEI E02 028

3203 134

64047

3203 135